

会報
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



「田代地区」早口駅前に集合



「二ツ山総合公園」除草・剪定奉仕



「大館樹海ドーム」除草奉仕



「比内地区」
扇田ふれあい公園除草

平成二十七年定時総会 会長挨拶



会長
佐藤 利吉

定時総会の開催に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

会員の皆様には、連日の暑い日差しの中での除草作業、リンゴの摘果作業、屋根の塗装作業、庭木の剪定作業、それに施設の管理など、それぞれ専門分野の仕事に、熟達した技を発揮され、発注された市民の皆様に、十分に満足して頂くことが出来まして、本当に良かったと思っております。

お陰様で二十六年度の就業実績は、受託契約高が二億一千九百万円を超えました。前年に比べますと、八百七十万円余りの増加となっております。増えた理由は、今冬は豪雪で除雪の依頼が非常に多かったこと、それに指定管理者制度により、市の体育施設が体育協会に移管され、その管理などを当センターが受注できたことにより

さて、当センターは昭和五十五年十月一日「大館市高齢者事業団」として設立され、会員二百十名でスタートしました。それから幾多の変遷を経て、本年十月一日で三十五周年を迎えます。

当センターの基礎作りに尽力された幾多の先輩、事業の拡充・発展に寄与された役員や会員の皆様の努力に、深甚なる敬意を表します。

本来であれば、十月に記念式典並びに祝賀会を盛大に挙行したいところでありませぬ。でも、公益社団法人という立場上、それもかなわず、諸先輩の築き上げた実績を継承し、更に発展させるために、全員が一丸となつて努力することを誓うものであります。祝賀の宴は会員個々に祝つて頂きますようお願い申し上げます。

さて、当センターが抱えている最も切実な問題は、会員の減少に歯止めがかからないことです。二十五年度末に六百十一名おつた会員が、二十六年度末には五百八十七名となり、二十四名の減となっております。

入会者を増やすためには、様々な取り組みをして参りました。会

員の皆様には、友人・知人へ入会の働きかけをやって頂きました。今年も継続して入会者を探して声をかけて下さるようお願いいたします。

新聞にも広告を出して入会を呼びかけました。効果があつたのは市の広報配布の際、入会のチラシと一緒に市内全域に届けて頂いたことです。これらで五十名を超す入会者がありました。でも、それを上回る退会者がいるので困るのです。退会の理由を伺ってみますと、病気になった、体調が悪いという人は止むを得ませぬ。「一年を取つたから」と言つて辞められる人には、やめてどうするの？と言いたいです。人との交流が減り、家に閉じこもりがちになり、心と体の老化が急速に進むのです。待つてゐるのは認知症です。

会にとどまっていればその心配はありません。無理して働かなくても趣味の活動、麻雀やカラオケ同好会、手芸などのサークル、体操や山歩き会などに参加して、新たな生きがいを見つけ出してほしいと思います。

また、地域に役立つ高齢者としてボランティア活動にも励んでほ

しいです。地域に住んでいる一人暮らしの老人の話し相手になり、困りごとの相談に乗つてほしいと思います。私たち高齢者が行政の手助けをして、地域の高齢者を守ることが出来たら、素晴らしいと思います。

さて、厚生労働省がシルバー人材センターで働く会員に、週二十時間以上働けないという規制を、年内にも緩和する方向で検討を始めた。

労働時間が週三十〜三十五時間に緩和されれば、収入が少なくて入会をためらつていた高齢者が、喜んで入会してくれそうです。また、会員にとつても労働時間が増えることで収入も増え、意欲をもつて働くことが出来ます。今まで沈滞ムードのシルバー人材センターに、新たな展望が開けそうです。

会員の皆様、三十五年にわたつて築き上げた市民との信頼の絆を、更に強めるために、真心と親切をモットーに、全会員心を一つにして今年も頑張りましょう。

皆様のご健勝を祈念して私の挨拶を終わります。

総会・交流会

去る六月十二日、ホテルクラウンパレス秋北を会場に、当シルバー人材センター「平成二十七年定期時総会」が開催されました。

今春の市長選挙で初当選され、就任一ヶ月余りの本当にお忙しい中を福原淳嗣市長がご臨席くださり、シルバー人材センターへの支援を表明して下さるなど、大変心強いご祝辞を賜りました。また、花田幸隆公共職業安定所長及び鈴木洋一、石田寛、佐藤賢一郎県議会議員並びに佐藤健一市議会教育産業常任委員長からも、誠に頼もしい激励のご祝辞を賜りました。

総会員数五百五十七人中、三百七十七人出席（委任状百二十六人、書面表決百十六人含む）のもと、中嶋正三監事の監査報告に続き、平成二十七年事業計画及び収支予算などが報告されました。

また、上程された三件の議案、平成二十六年事業報告及び収支決算報告並びに任期満了に伴う役員選任案とも、提案のとおり満場一致で承認可決されました。

総会は、田代地区会員の木村明夫議長の手配で、ほぼ予定時間通り

りに進行。お陰様で盛会裏に終了できました。

総会の後は、会場を別にして恒例の親睦交流会です。

交流会は百人ほどの参加者でしたが、来賓の鈴木、石田両県議及び佐藤教産委員長並びに下遠顧問も参加され、会員席を回りお言葉をかけていただきました。

本年は当センター創立三十五周年に当たります。歴史を振り返りつつ会員同士お酒を酌み交わし、苦労話や笑い話に花を咲かせた楽しい交流会でした。

平成二十七年事業実施計画

- 一、普及宣伝活動
 - 一、会員確保と就業機会拡大
 - 一、安全・適正就業
 - 一、シルバー派遣事業及び職業紹介事業
 - 一、技能講習・介護家事援助講習
 - 一、中期事業計画の策定
- 事業目標**
- ①会員数↓630人
 - ②就業延数↓5万人日
 - ③契約高↓230,000千円
 - ④就業率↓90%



福原市長のご祝辞

新役員体制

- 代表理事**
会長 佐藤利吉（再任）
副会長 菅原明裕（再任）
- ※十八班担当
- 業務執行理事** 安達公正（再任）
常務理事兼事務局長
- 理事** 伊藤アヤ子（再任）
※三班・五班担当
- 理事** 畠山壽子（再任）
※八班・十六班担当
- 理事** 佐藤弘康（再任）
※田代地区班担当

退任された役員

- 任期満了で、次の方々が役員を退任されました。（敬称省略）
- 寺田晃美（再任） ※六班・十一班担当
 - 三浦剛（再任） ※比内地区班担当
 - 三上文弘（再任） ※七班・十三班担当
 - 安田鉄介（再任） ※一班・二班・十四班担当
 - 本間鉄郎（新任） ※十班・十七班担当
 - 鳴海義衛（新任） ※十二班・十五班担当
 - 中嶋正三（再任）
 - 田中瑞穂（再任）
 - 岩間久子（新任）
 - 鈴木実明（理事 七期十四年）
 - 櫻庭晋一（理事 五期十年）
 - 小林則子（監事 二期四年）
- 当センター発展のため、長年にわたりご尽力いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

新任役員紹介

六月の定時総会で選任された、新任の役員を紹介いたします。

①前職②趣味や特技③抱負などについて伺いましたので、掲載いたしました。



理事
本間 鉄郎

- ①民間企業 (石油輸送会社)、併せて三十年間レコード店経営
- ②音楽、スポーツ (アーチェリー)
- ③会員になって十二年になります。今は体育施設の管理人として働いています。

シルバー基本理念のもと、いろいろな内容の仕事をしました。その間、多くの先輩達と出会い、指導して頂いたことに感謝しております。

私も、微力ながらお役に立てればと思っておりますので、宜しくお願い致します。



理事
鳴海 義衛

- ①大館市消防本部・消防署
- ②野球、スキー、将棋
- ③この度の定時総会において理事に選任され、その重責を痛感しております。

シルバー会員になって二年に満たない未熟者ではありますが、センターの一層の発展のため微力ながらもお役に立てればと思っております。

今後ともご指導いただきますようお願いします。



理事
岩間 久子

- ①十和田オーデイオ(株)
- ②家庭菜園、料理
- ③シルバーの会員になって、様々な経験を持った会員が大勢いることを知りました。

自分の出来る範囲で地域のため

に働き、出会いや仲間が出来ることに、生きがいと喜びを感じます。これからも宜しく願います。

第二の人生はシルバーで



十班
高橋 悟

皆さん、こんにちは。私は今、清水町に住んでいます。

生まれは古川でしたが、兄に「勉強するなら仙台に来い」と言われて、早くから杜の都仙台にいやいやながら連れて行かれました。と言うことで、実家は地震と津波で有名になった仙台です。

現役の際の職場は、どちらかと言えば今は皆様に嫌われている「日本たばこ」(JT)です。当時は男性の喫煙率が86%と、愛煙家に愛された企業でしたが、昨今の禁煙ブームで売り上げが落ち、他業種でカバーする現状です。

転勤は、单身を含めて丁度十回

でした。主に営業と総務を担当し、東北各地で数多くの思い出を残し定年を迎えました。今は亡き母を、三十歳の時から実家の兄と交互に見て、各地を連れ歩いたことが思い出されます。

退社して、「のんびりテレビを見ての暮らし」でしたが、それも飽きてしまい図書館に通う日々が続きました。その頃に、ある人の紹介で不安のままシルバーに入会しました。

現役の際は、主にパソコンでデータを作成し業務指示するデスクワークだったので、事務的な仕事はもうたくさん。施設の夜間管理もあつたが楽しみの晩酌が出来なくなるので気乗りしません。

そんな折、お陰様で全く技能のない私が、リングや枝豆など農業関係の仕事をやらせて頂くことになりました。特に枝豆は、甲乙つけがたい美人二十三人の班長にさせられ、チームワークを大切に、仕事は楽しく、かつ効率を上げるを目標に頑張っています。

枝豆は、大規模法人経営のアグリ川田さんの仕事ですが、収穫は若い社員が行い、我々は豆洗いから選別、箱詰めまで担当します。

コンテナの枝豆をシルバーのイイ男たちが水洗いと脱水を担当しコンベアーに流す。それを昔の乙女たちが、虫食い、変形、変色を瞬時に見極めて選別、最後の袋詰めまで担当します。とにかく社長は仕事の厳しさで有名ですが、シルバーの我々はそつなく業務をこなすので毎年頼まれています。

お昼は女性軍が輪になりペチャクチャ。たまに私が入るとまた大賑わい。楽しい仲間です。

また、シルバーには「山の会」があります。佐藤会長の提案で発足しましたが、現在四十五人います。山々の壮大な景色、かれんな花、登った方は分かると思います。作家で登山家としても知られた深田久彌の随筆集「日本百名山」BSプレミアム十九時三十分～二十時。是非ご覧になって下さい。シルバーの一員として、まだまだ生涯現役で頑張ります。

私と田代岳



十九班
佐藤 照雄

七月二日は半夏生。田代岳九合目の池塘に咲くミツガシワの生育状況を見て、神主が作占いをする。この日は田代岳が良く見える大館地区や鷹巣、あるいは遠くは青森県弘前市周辺からも大挙して田代山神社を詣でる。今年の我が「愛でる会」は、七月四日に行われる田代中の全校登山を支援するため登山を控えたので女房と二人で行くことにした。

そして七月四日当日、我が「愛でる会」のメンバー十三人は田代中学校に集合したが、悪天候を予測し一日順延の連絡が何かの手違いで我が会には伝わってこなかった。明日は登れないし、このまま簡単に家に帰れない、と虫の収まらない輩の提案で私も含めメンバー大半が田代岳に登る事になった。結局、私は七月に入り二日から五日までの四日間に三日も田代岳に

登る羽目になったのである。田代は木材の町として知られているが、田代岳山頂には白髭大明神の他に、危険な作業に携る人達の安全の守り神様として女の神様も祀られている。

近年までは女人禁制の山であった。私の経験では、今でもこの神様は女性が登るとすこぶる機嫌が悪い。男性だけで登った時に比べ、天気の高率を一気に下げてしまう。この女神、今回、私の三回の登頂を、敢えてそう仕向け私を歓迎していたのかも知れない。

この田代岳の九合目までは六月にも竹の子採りの為二回通過している。私のこだわりの竹の子採りの場所は早口薄市沢八合目である。その薄市登山口、今年は工事で通行止めのため岩瀬側大広手登山口から九合目を經由して薄市沢の八合目に下り、そして帰りは竹の子を背負って九合目まで登り、そして下山。帰りは私の足で二時間以上の道のりであった。

山は特に好き、という程でもない。ただ、三十から四十代の昔は田代岳周辺を飛んで歩いた。山と川そして酒と歌と女性をこよなく愛した三つ年下の友人がいた。彼

は男盛りの四十九歳で他界したが彼との出会いは私の山の冒険心を大きく進化させた。二人は車から降りると勝手に自分の好きな方向へ行き、好きな時間に戻ってきたが、しばらくして声を掛けると近くまで彼も帰ってきていた。特別な打ち合わせも無かったがそれは恒例の行動であった。それは互いの技量や行動が分かり合える所以であるが、この頃の山での自由な行動が後の「愛でる会」の団体行動で私の自由心を束縛して行くことになるのである。

山地図と高度計があれば自分の居場所が大概分かる。一人気儘に、ある時は田代岳の真後ろの下荒沢から沢登りをし、雷岳と烏帽子岳の鞍部に登り詰め、出始めたニツコウキスゲを観賞し、帰りはウラ折りの竹の子を少し採って戻って来る冒険も。今年の竹の子採り、もう一つのこだわりの場所へは通行止めのため隣の沢から道無き別ルートを開設して行った。

決して背は高くないが親から受け継いだ丈夫な体は、私のアウトドア好きな遊び心溢れる活動によってどうにか維持されている。冬の雪も私にとっては除雪や寒

さという負よりもスキーが楽しめるというプラス部分が大きく勝っている。七十歳を過ぎた今、今でしか味わえない事がある。ニセコの深雪パウダースノーは魅力。百名山踏破も果たしたい。こんな遊びを少なくとも十年は続けたいと思っているが、贅沢かもネ…。

部長紹介

「貴方が主役です」



総務部長
(副会長)
菅原 明 裕

七月十四日の「総務部会」で部長に任命されました。総務部会では、向う五年間の当センター事業の指針とするため、「中期事業計画」を策定する事にております。具体的な数値目標の他、会員拡大、安全・適正就業、理事会・部会の在り方、地域班・職群班の在り方など、我々が大館市シルバー人材センターの骨組みとなるよう、幅

広く話し合う事になっています。

しかし、どの部会で、どんな話し合いがされ、どのような結論が出されようとも、会員の協力が無ければ一歩も前へ進むものではありません。苦情でも何でも良いので、会員皆さんの積極的関与を期待します。

私がシルバー会員となったのは二十年程前です。退職した二、三ヶ月後に、ぼつかりと気の抜けた自分を奮い立たせるような気持ちで入会しました。

当時、比内町シルバーの事務所は比内公民館の一角にあり、松澤さんという町の厚生課長だった同級生が会長をやっていました。入会のため訪問するなり「ちようど良い所へ来た。お前、事務局長やってくれ」…突然そう言うのです。話を聞くと、今の事務局長が、苦情やら何やら夜も眠れず体調を崩したということで、お前なら適任だと言うのです。しかし私は断りました。四十二年間机上の仕事を

してきて、もうそのような仕事はしたくありません。結局私は一会員として入会したのです。

その後、誰が事務局長になったのか知らずにいたのですが、仕事

が一つも来ないので、事務局を訪ねてみて驚きました。「何？お前が事務局長？なんでだ？」と聞く

と、「頼まれた」と言う。「それで俺に仕事一つもよこさないのか？何か仕事よこせ！」…そんなやり取りで初めて依頼された仕事が草刈りでした。この事務局長こそ石垣省蔵君だったのです。彼は鷹巣農林高校の同級生で、シルバー合併まで局長をやっていました。

私は会員になったものの総会に出席した事がありません。ある日石垣事務局長から電話があり、「今度の総会には必ず出てくれ」と言うのです。私は全く行く気が無かったのですが、当日の朝に再度電話があり、「今回だけでいいから何とか来てくれ、来なければ迎えを出す」とまで言うので、仕方なく会場に向かいました。

総会は既に始まっていて、議事は進み会長選任に入り、地区の選考委員で決める事になりました。ほとんど協議が終わり、石垣事務局長が「協議の結果、会長は…」と言って私の名前を読みあげたのです。「お前何を言ってるんだ？俺は絶対やらないぞ！」と思いましたが、しかし、議長から挨拶を促

され、会員の視線を強く感じ立ち上がっていました。何をどう話したか全く覚えていません。

そんな事がありました。私はその後変わる事なく草刈りや剪定等、石垣事務局長から言われるまま活動したものでした。

私が思うには、人はいつまでも社会とつながりを持つべきだと思います。シルバー人材センターはただ働くだけの場所ではなく仲間作り、健康維持、社会貢献など多様な要素を持っています。シルバーこそ人と人とを結びつけ、自分を拓いてくれる所だと思っております。そのシルバー人材センターを構成し、動かしているのは会員の皆様です。皆様の多様な活動に期待しています。

新会員紹介

武田 清孝	三三 班
奈良 一磨	三三 班
菅原 孝司	三五 班
畠山 義忠	五五 班
菅原 慎一	六六 班
阿部 隆則	六六 班

佐藤俊二	佐藤キヨ	佐藤堅悦	浅利久雄	木越恵勇	木谷ユリ子	武田康雄	小畑トシ子	滝沢つゑ	三浦拓子	籠谷ミチ子	嶋川ミチ子	中屋敷美勉	前村喜弘	石川正巳	鳴海茂雄	伊藤工子	川村敏子	野田トミ子	菅原敬一	糸田寛	小笠原金密	渡辺賢治	近藤賢夫	橋谷文雄	下山礼子	泉禮子	
二十二班	二十二班	二十二班	二十班	二十班	十九班	十七班	十七班	十六班	十六班	十六班	十六班	十六班	十六班	十五班	十五班	十四班	十四班	十四班	十三班	十三班	十二班	十二班	十二班	十一班	十一班	十班	十班

柴田正敏	奈良光子	柴田正明
二十三班	二十三班	二十三班

・以上、平成二十七年一月十四日以降、四十名の方が仲間入りしました。

計 報

3班 伊藤 巖殿 (70歳)
 14班 小泉栄二郎殿 (85歳)
 22班 大坂正雄殿 (71歳)
 ご冥福をお祈りいたします

一斉奉仕作業の御礼

・去る七月四日に実施された、第三十五回「一斉奉仕作業」実施の際は、早朝にもかかわらず大勢のご参加を頂き感謝申し上げます。お陰様で市民各層に向けて大いにアピールできました。



「十二所地区」ふれあいセンター前



「長根山運動公園」剪定と除草



「二井田・真中地区」真中保育所刈払い



「矢立地区」鳥潟会館除草

お知らせ

次回以降の配分金支払日

- 七月分→八月三十一日
- 八月分→九月三十日
- 九月分→十一月二日
- 十月分→十一月三十日
- 十一月分→十二月二十日
- 就業報告書は、早めの提出をお願いします。

事務所夏季休業のお知らせ

- 八月十三日(木)～
- 八月十七日(月)
- この期間事務所が休業となりま
- す。緊急時の連絡先は、総会資
- 料を御覧下さい。

会員作品展中止のお知らせ

恒例の「会員作品展」でしたが、今年の開催は見合わせることになりました。
開催を心待ちにしておられる方には申し訳なく思いますが、ご理解の程お願いいたします。

シルバー出張説明会の実施

- 今年も比内地区と田代地区で出張説明会を開催します。
- 友人知人ご近所に周知して頂きますようご協力をお願いします。

☆「比内地区」出張説明会

- 1 回目→七月二十九日(水)
- 会場→比内公民館「第8研修室」
- 2 回目→八月二十七日(木)
- 3 回目→九月二十九日(火)
- 会場→比内公民館「第2研修室」
- 時間→午前九時から十二時

☆「田代地区」出張説明会

- 1 回目→七月三十日(木)
- 2 回目→八月二十八日(金)
- 3 回目→九月三十日(水)
- 会場→早口一分館「研修室」
- 時間→午前九時から十二時

一泊バス旅行のお知らせ

- 旅行先→遠刈田温泉と蔵王御釜・寒河江の旅
- 出発日→十一月三日(一泊二日)
- 宿泊先→旅館三治郎(遠刈田温泉)
- 参加費→一人三万円
- 募集人数→三十人

申込み期限→九月十五日

注*募集人数に達しなければ中止する場合がありますので、予めご了承ください。

※詳しくは、別添の「一泊バス旅行のご案内」をご覧ください。

庭木班と除草班の奉仕

- 庭木班の皆さんがセンター入口樹木の剪定をして下さいました。
- 除草班の皆さんが敷地内の除草をして下さいました。
- お蔭様で綺麗になりました。ありがとうございました。

「熱中症」に注意!

○熱中症で毎年多くの人が命を落としています。少しでも気分が悪くなったら直ちに仕事をやめ、病院へ行って下さい。

○熱中症の予防

- 頭や肌を直射日光にさらさない。
- 発汗で失った水分と塩分をこまめに補給する。
- 時折、自分の体調を観察する。
- 睡眠を十分とる。

※熱中症は「団体傷害保険」の対象外です。気をつけて下さい。

編集後記

平成二十七年度定時総会も無事終了しました。今年は当センター設立三十五周年にあたり、交流会は大いに盛り上がりました。

次の事業は、会報「おおだて」の発行です。

会員の皆様に、テーマごとに寄稿をお願いし、編集し、校正を済ませて印刷物にする。それを地域班の班長さん方に協力していただいて、会員の元へ届けよう。まさに皆様の協力なくして出来るものではありません。

依頼された方々も、多忙な時間をさいて原稿と向き合うのは大変でしょう。でも皆さん一生懸命向き合ってくれて、とても良くまとめてくれるので助かりました。

先輩たちの繋げてきた重さを感じながらの作業でしたが、何とか会報第六十九号の発行を見ることが出来ました。本当にご協力有難うございました。

これからも皆さんと共に、市民に愛されるシルバー人材センターを目指していきたいと思えます。

【三浦、伊藤、畠山、安田、本間】